

科目	マナー実践 I	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として国際的に通用するマナー、冠婚葬祭などの日本の礼儀作法を習得する。 本授業は表現学科の学習成果(4)に対応する。		
到達目標	マナーの知識を習得し、社会人として信頼される振る舞いや心遣いを身につける。		
学習成果の 評価基準	到達目標の達成度を測るため、授業内課題、定期試験で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション(マナーとは何か・マナーを学ぶ意義)	教科書を読む(予習30分) マナーとは何か考えてくる(復習30分)	
2.	第1章: マナーの歴史と意義	教科書を読む(予習30分) 日本・西洋ノマナーの歴史をレポートにまとめる(復習30分)	
3.	第1章: マナーの歴史と意義(異文化コミュニケーション)	教科書を読む(予習30分) 異文化に接した自分の体験を発表できるよう準備する(復習30分)	
4.	第2章: 国際人としてのプロトコール(プロトコールの原則と具体的な席次例)	教科書を読む(予習30分) テキストの席次についての箇所を読む(復習30分)	
5.	第2章: 国際人としてのプロトコール(社交の場でのコミュニケーション・挨拶と紹介)	教科書を読む(予習30分) 社交の場での好ましい話題・好ましくない話題を考える(復習30分)	
6.	第2章: 国際人としてのプロトコール(国旗の扱い・異文化コミュニケーション)	教科書を読む(予習30分) テキストの国旗の箇所を読む(復習30分)	
7.	第3章: 社会人に必要なマナー(好印象を与えるコミュニケーションとは)	教科書を読む(予習30分) 第一印象を決めるものについて考えてくる(復習30分)	
8.	第3章: 社会人に必要なマナー(言葉遣い)	3教科書を読む(予習30分) 種類の敬語の使い方をまとめる(復習30分)	
9.	第3章: 社会人に必要なマナー(聴き方・話し方)	教科書を読む(予習30分) 上手な聴き方・話し方のポイントを考えてくる(復習30分)	
10.	第3章: 社会人に必要なマナー(礼装の基準)	教科書を読む(予習30分) IPOに分けて服装を表にする(復習30分)	
11.	第3章: 社会人に必要なマナー(喜ばれる贈答)	教科書を読む(予習30分) 袱紗の取り扱い方を練習する(復習30分)	
12.	第3章: 社会人に必要なマナー(手紙のマナー)	教科書を読む(予習30分) 実際に手紙を書く(復習30分)	
13.	第3章: 社会人に必要なマナー(まとめ)	教科書を読む(予習30分) 第3章までの定着を図るための復習をする(復習30分)	
14.	第4章: ビジネスシーンのマナー(ビジネスマナーの必要性・名刺の扱い方)	教科書を読む(予習30分) 会社組織について概略をまとめる(復習30分)	
15.	第4章までのまとめ(到達度確認テスト)	教科書を読む(予習30分) 前期の到達度を確認する(復習30分)	
教科書	マナー&プロトコールの基礎知識(NPO法人マナー・プロトコール協会)		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (10%) 授業内課題 (30%) 定期試験 (50%) 授業内発表 (10%)		
特記すべき 事項	マナーを身近なものとして学ぶため、実際の経験や意見を発表していただくことがあります。また、レポートなどの課題を出すことがあります。		
質問・相談 の受付			

科目	マナー実践Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として国際的に通用するマナー、冠婚葬祭などの日本の礼儀作法や心遣いを習得する 本授業は表現学科の学習成果(4)に対応する。		
到達目標	マナーの知識を習得し、社会人として信頼される振る舞いや心遣いを身につける		
学習成果の 評価基準	マナー・プロトコール3級検定の取得を評価する。 到達目標の達成度を測るため、授業内課題、定期試験で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	第4章：ビジネスシーンのマナー(来客対応・ビジネス文書)	教科書を読む(予習30分) ビジネス文書を実際に書く(復習30分)	
2.	第4章：ビジネスシーンのマナー(まとめ)	教科書を読む(予習30分) ビジネスマナーの定着を図るため復習をする(復習30分)	
3.	第5章：食事のマナー(食事の作法の基本・和食のマナー)	教科書を読む(予習30分) 各国の食事を使う道具について調べる(復習30分)	
4.	第5章：食事のマナー(和食のマナー)	教科書を読む(予習30分) 自分と家族の着使いをチェックする(復習30分)	
5.	第5章：食事のマナー(和室の作法・和食のまとめ)	教科書を読む(予習30分) 和室での作法をレポートにまとめる(復習30分)	
6.	第5章：食事のマナー(西洋料理のマナー・各国料理のマナー)	教科書を読む(予習30分) 各国の料理の特徴の違いをまとめる(復習30分)	
7.	第5章：食事のマナー(まとめ)	教科書を読む(予習30分) 食事のマナーの定着を図るための復習をする(復習30分)	
8.	第7章：「冠」のしきたり	教科書を読む(予習30分) 発表を前提として通過儀礼についての経験をまとめる(復習30分)	
9.	第8章「婚」のしきたり	教科書を読む(予習30分) 祝儀袋の使い方を復習する(復習30分)	
10.	第9章：「葬」のしきたり	教科書を読む(予習30分) テキスト中の難解な言葉を調べてくる(復習30分)	
11.	第10章：「祭」のしきたり	教科書を読む(予習30分) 発表を前提として年中行事の経験をまとめる(復習30分)	
12.	冠婚葬祭のしきたり(まとめ)	教科書を読む(予習30分) 定着を目的として冠婚葬祭の復習をする(復習30分)	
13.	冠婚葬祭のしきたり(まとめ)	教科書を読む(予習30分) 冠婚葬祭について各自の考え方を発表する(復習30分)	
14.	マナープロトコール一年間のまとめ(到達度の確認)	教科書を読む(予習30分) 達成確認のための試験(復習30分)	
15.	マナープロトコール一年間のまとめ(検定試験およびレポート)	教科書を読む(予習30分) 一年間の総復習と検定試験(復習30分)	
教科書			
参考書	マナー&プロトコールの基礎知識(NPO法人日本マナープロトコール協会)		
学習成果の 評価方法	受講態度 (10%) 授業内課題 (30%) 定期試験 (50%) 授業内発表 (10%)		
特記すべき 事項	マナー・プロトコール3級検定全員受験(必須) 発表やレポート課題を出します。必ず準備・提出すること。		
質問・相談等 の受付			

科目	キャリア実践演習	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	セレーノ・コーポレーション	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	好きなことを仕事にしたいという気持ちに、自分自身の目標をたて、それに向かって努力することができます。社会人意識を持った人財、豊かな感性・理性を持ち、それを表現できる人財、変動する社会に対応している柔軟性と知識・技術を身につけた人財を育成します。本授業は、表現学科の学修成果(4)に対応する。		
到達目標	人間の内にある思考や感情を省察し、自己発見、自己分析のなかで自表現方法の習得、社会人として必要とされる技術・人間力を修得することができます。		
学習成果の評価基準	学習に対する取組姿勢や課題提出、授業内容の習熟度を評価します。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	予習: キャリアを考える (30分) 復習: 学んだ内容を振り返る (30分)	
2.	自己分析 (過去の自己分析シート作成①)	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
3.	自己分析 (過去・現在自己分析シート作成②)	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
4.	SWOT分析自分の強み弱みを分析	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
5.	自分史を作成・オリジナルストーリーの作成	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
6.	Web集客と法律	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
7.	動画の取り方基礎	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
8.	動画編集基礎	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
9.	動画制作と自己表現①	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
10.	動画制作と自己表現②	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
11.	オリジナルオーディション動画作成	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
12.	自己マーケティングとブランディング	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
13.	プレゼンテーションとは	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
14.	成果発表	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
15.	感想と課題発見	復習: 学んだ内容を振り返る (30分) 予習: 授業内容の下調べを行う (30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	取組姿勢 (40%) 課題 (30%) (提出期限を含む) 習熟度 (30%) 60点以上で合格		
特記すべき事項			
質問・相談の受付			

科目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年後期集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	地元企業での職場体験を行う。職場体験を通してこれまで抱えてきた職業に対するイメージをより鮮明にするとともに、これからの方向性を確認する。職場体験3日間。職場体験の事前指導、事後指導を行う。本授業は表現学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に対する理解を深め、就職をより身近に捉えることができる。</li> <li>・社会人の職業意識や現場での必要能力を把握し、学業への取り組みを深めることができる。</li> </ul>		
学習成果の評価基準	規定のインターンシップを終了し、受入先に求めた評価表を加味し、総合評価とする。目標設定や達成度のほか、評価表は社会人基礎力を含んだ内容とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	インターンシップ事前研修	予習：インターンシップについて(30分) 復習：授業内容の振り返り(30分)	
2.	インターンシップ	予習：企業研究(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
3.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
4.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
5.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
6.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
7.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
8.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
9.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
10.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
11.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
12.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
13.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
14.	インターンシップ	予習：各インターンシップ先の振り返り(30分) 復習：職場体験の振り返り(30分)	
15.	インターンシップ事後研修	予習：今までの振り返り(30分) 復習：授業内容の振り返り(30分)	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受入先からの評価(60%)、レポート(40%)		
特記すべき事項	「キャリアデザイン」の講義を10年以上実務経験を有している。		
賞・権等の受付			

科目	ビジネス情報Ⅰ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	表計算ソフト「Excel」をとりあげる。表計算の基本的な仕組みの理解からはじめ、グラフ作成、関数を使った計算、データベースとしての利用、ワープロソフトとの連携等演習を行うことにより、Excelを実用的に使いこなせるようになる。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	Excelの基本的操作ができ、表やグラフを作成し、データベース操作ができるようになること。		
学習成果の評価基準	単元ごとに課題で理解度を確認する。 定期試験で総合力を問う。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	表計算ソフトとは	予習: PC・Windowsの操作(30分) 復習: 授業の振り返り(30分)	
2.	Excelの基本	予習: 教科書p2~22(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
3.	データの編集1	予習: 教科書p23~44(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
4.	データの編集2	予習: 教科書p45~56(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
5.	表の編集1	予習: 教科書p57~69(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
6.	表の編集2	予習: 教科書p70~84(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
7.	ブックの印刷	予習: 教科書p85~102(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
8.	グラフの作成	予習: 教科書p103~125(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
9.	図形の作成	予習: 教科書p126~140(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
10.	ブックの利用と管理	予習: 教科書p141~155(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
11.	関数1	予習: 教科書p157~174(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
12.	関数2	予習: 教科書p175~181(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
13.	関数3	予習: 教科書p182~190(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
14.	データベース機能	予習: 教科書p191~212(30分) 復習: 授業内容の再実行(30分)	
15.	総合学習問題	予習: テキスト全体の振り返り(30分) 復習: 誤りの確認と集成(30分)	
教科書	『Excel2016クイックマスター(基本編)』 ウィネット		
参考書			
学習成果の評価方法	定期試験: 50% 授業内課題: 50%		
特記すべき事項	情報処理士必修		
貸出・相談等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		

科目	日本語表現法Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ 本授業は表現学科情報司書フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要の説明・自己紹介	教科書を読んでおく	
2.	「話す」「聞く」「書く」「読む」の理解	教科書を読んでおく	
3.	呼吸と発声・発音	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4.	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5.	「カ行」「ガ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6.	「サ行」「ザ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7.	「タ行」「ダ行」「ナ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8.	「ハ行」「バ行」「パ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9.	「マ行」「ヤ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10.	「ラ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11.	「ワ行」「撥音」「促音」「拗音」について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12.	文章を読む	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13.			
14.			
15.			
教科書	「日本語の発生レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内発表50%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	日本語表現法Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。 より多くの人に自分の意思を表現できるように、的確な音声表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「外郎売」を総合的な評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	共通語のアクセント①	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
2.	共通語のアクセント②	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
3.	共通語のアクセント③	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4.	イントネーション①	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5.	イントネーション②	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6.	アーティキュレーション①	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7.	アーティキュレーション②	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8.	アーティキュレーション③	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9.	外郎売①	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10.	外郎売②	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11.	外郎売③	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12.	外郎売テスト	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13.			
14.			
15.			
教科書	「日本語の発声レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度30%、授業内発表30%、外郎売40%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談 の受付			

科目	日本語概説	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	桐生直代	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	日本語の基本的な構造や体系についての知識を学び、理解を深めていきます。このように言うと、難しく感じるかもしれませんが、「私は」の「は」は、なぜ「wa」と発音するのでしょうか？日本語にはどうしていろいろな方言があるのでしょうか？等々、当たり前のように使っている日本語がどのようなものかを見直し、新たに知る機会にしていきます。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果 (1) に対応します。		
到達目標	【知識・理解の観点】日本語の構造・性質に関する知識を身に付け、説明することができる。 【技能の観点】学んだことを身近な問題として捉え、説明することができる。 【態度の観点】日本語への興味関心を深め、ディスカッションや発表に意欲的に参加し、他者の意見を尊重し自分の意見を述べるることができる。		
学習成果の評価基準	学期末試験 (60%) 課題 (30%) 受講態度 (10%)		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	【予習】シラバスを読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
2.	音声・音韻 1 母音と子音	【予習】配付資料を読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
3.	音声・音韻 2 アクセント	【予習】配付資料を読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
4.	文字・表記 1 日本語の表記の特色	【予習】配付資料を読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
5.	文字・表記 2 漢字	【予習】配付資料を読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
6.	文字・表記 3 平仮名・片仮名・ローマ字	【予習】配付資料を読む。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
7.	1~7のまとめ	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
8.	語彙 1 語彙	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
9.	語彙 2 語種	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
10.	語彙 3 位相	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
11.	語彙 4 役割語	【予習】役割語を調べる。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
12.	方言 1 方言とは	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
13.	方言 2 言語地図とその解釈	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
14.	8~14のまとめ	【予習】出身地の方言を調べる。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
15.	全体のまとめ	【予習】疑問点を整理する。 (30分) 【復習】ノートをまとめる。	
教科書	なし。プリントを配付します。		
参考書	授業のなかで適宜紹介します。		
学習成果の評価方法	受講態度 (10%) ミニツッペーパー (30%) 定期試験 (60%)		
特記すべき事項	グループディスカッションを取り入れる場があります。積極的な参加を期待します。		
質問・相談等の受付	授業前後の空き時間、Gmailで受け付けます。		



科目	表現研究 I	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	デザイン思考の出発点である観察力、共感力を高め、わかりやすいコンセプトを整理できるようになることを目的とします。ユーザー視点で課題を捉え、文章でコンセプトをまとめることは、表現を行っていく上で重要なスキルになります。本授業は、情報司書フィールドの学習成果 (5) に対応します。		
到達目標	デザイン思考を獲得し、自ら課題の発見及び表現の手段として新しいアイデアを生み出しができるようになる。		
学習成果の評価基準	積極的に取り組む姿勢を「授業態度」の評価とする。 技能の達成度を測るために「最終成果物」において評価する。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について ルーティンワーク「今日の写真1枚」	予習30分: シラバスを見ておく 復習30分: 写真での表現を試す	
2.	ワークショップの型について学ぶ ワークショップの体験を行う	予習30分: 日常で気になる話題を探す 復習30分: ワークショップの心構え	
3.	ユーザー視点における整理の方法を学ぶ	予習30分: 自分が持っている本を探す 復習30分: さまざまな考え方を学ぶ	
4.	体験を可視化する (感情曲線を描く)	予習30分: 自分が一番使う時間を考える 復習30分: 自らの感情を意識する	
5.	ジャーナリスト取材体験1	予習30分: インタビュー記事を探す1 復習30分: ワークショップを振り返る	
6.	ジャーナリスト取材体験2	予習30分: インタビュー記事を探す2 復習30分: ワークショップを振り返る	
7.	KJ法について学ぶ	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: まとめ方を覚える	
8.	写真KJ法の体験	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: まとめ方を覚える	
9.	共感マップの作り方の実践	予習30分: 配布資料を読んでおく 復習30分: ワークショップを振り返る	
10.	企業から学ぶ言葉の作り方 コンセプトを短い文章にしてみる	予習30分: 企業のビジョンを探す 復習30分: 自分のパーパスを言語化する	
11.	ワーク「20歳の自分と未来の自分を想像する」	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: 視点、切り口を意識する	
12.	フィードバックの実践を行う	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: フィードバックを復習	
13.	ワークをブラッシュアップする	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: 課題ブラッシュアップ	
14.	添削によってワークをブラッシュアップする	予習30分: 指定した課題に取り組む 復習30分: まとめをおこなう	
15.	知識と学習のまとめ及び発表	予習30分: 学びを振り返る。 復習30分: 授業を振り返る	
教科書	必要に応じてプリント配布		
参考書	随時提供		
学習成果の評価方法	講態度50%、最終成果物50%		
特記すべき事項	デザイン企画会社を10年以上経営している。 予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等の受付	チャットツール (GoogleChat) 随時質問を受け付け可能。		

科目	表現研究Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	白根恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	本の内容を的確に把握し、かいつまんで紹介することで、聴き手に読む気を起させるブックトークについて学ぶ。 口頭でわかりやすく伝えるための文章表現法、発声等を身に付ける。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	人の前で自分の考えや思いを言葉で適切に表現し、伝達することができるようになる。		
学習成果の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・到達目標の達成度を測るため、ブックトークを作成、発表・完成度を評価する。授業中に提出を求める課題内容を評価する。</li> <li>・授業内での積極的な発言、質問を受講態度の評価基準とする。</li> </ul>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	子どもの読書の意義について考える	予習30分 心に残っている本を思い出しておく 復習30分 読書の意義を再検討	
2.	ブックトークの意義・子どもの読書力の発達と本の手渡し方	予習30分 紹介する本を考えておく 復習30分 授業内容を確認する	
3.	1冊の本を紹介しあう(各自)	予習30分 紹介のやり方を考えておく 復習30分 自己評価しておく	
4.	ブックトークのやり方の説明と実演	予習30分 ブックトークについて調べておく 復習30分 授業で学んだことを確認しておく	
5.	ブックトークを楽しくするための工夫① 発音・発声 読み聞かせ、指あそび、わらべ唄	予習 知っているわらべ歌や指遊びを思い出しておく 復習30分 学んだことを実践	
6.	ブックトークを楽しくするための工夫② ストーリーテリングと昔話	予習30分 知っている昔話を思い出しておく 復習30分 習ったおはなしを	
7.	口で語るための文(テキスト)の作り方を知る	予習 本の紹介をする準備をしておく 復習 注意された点を修正しておく	
8.	ブックトークに挑戦① グループで作る。	予習30分 紹介のポイントを考えておく 復習30分 自分のグループの	
9.	ブックトークに挑戦② グループで作る・発表	予習30分 構成、つなぎ方を考えておく。発表準備 復習30分 注意された点を確認	
10.	ブックトークに挑戦③ 1人でブックトークを作る	予習30分 ブックトーク作成 復習30分 ブックトーク作成	
11.	ブックトークに挑戦④ 1人でブックトークを作る(発表)	予習30分 本を選定しプランを立てる。 復習30分 プラン修正	
12.	ブックトーク最終発表と評価1(各自)	予習30分 発表準備 復習30分 再修正	
13.	ブックトーク最終発表と評価2(各自)	予習30分 発表準備 復習30分 シナリオ完成	
14.	ブックトーク最終発表と評価3(各自)	予習30分 発表準備 復習30分 シナリオ完成	
15.	ブックトーク最終発表と評価4(各自)	予習30分 発表準備 復習30分 シナリオ完成	
教科書	プリント配布		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(20%) 授業内発表(40%)		
特記すべき事項	永年福岡県立図書館で司書として勤務経験のある教員です。なかでも児童サービスに14年半携わりました。積極的に本を読んでください。		
質問・相談等の受付	授業の前後		

科目	表現研究Ⅲ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	インターネットの主要サービスであるWWWの仕組みを学ぶ。 Webページを記述する言語であるHTMLとCSS、Javascriptを実際にコーディングしながら習得する。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	HTMLとCSSを記述して、基本的なWEBページが作成できるようになる。 WEBページの仕組みを理解し、表現活用ができるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題を実施、最終課題で学修したことを盛り込んでWEBページの作成を行う。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	World Wide Webの基礎知識、パソコン設定	予習30分：パソコンに触れておく 復習30分：パソコンの設定完了	
2.	自分のプロフィールサイトを作ってみよう HTMLの基本構造	予習30分：プロフィール素材を準備 復習30分：プロフィールを整える	
3.	CSSの基本構造、フォント、色の指定	予習30分：HTMLを作っておく 復習30分：CSSを理解する	
4.	画像、リンクの設定	予習30分：プロフィール写真の準備 復習30分：コーディング	
5.	枠の設定、余白の設定	予習30分：コーディング 復習30分：プレゼン準備	
6.	自分のプロフィールサイトをプレゼンしよう	予習30分：プレゼン準備 復習30分：課題成果物の見直し	
7.	サイトに動きを表現する(CSSの応用)	予習30分：CSSの復習 復習30分：CSSで動きを作る	
8.	サイトに動きを表現する(Javascript基礎)	予習30分：動きのあるサイト探し 復習30分：コーディングしてみる	
9.	コンセプトを作ろう	予習30分：課題資料を読む 復習30分：コンセプト調整	
10.	ワイヤーフレームを作ろう	予習30分：素材を集める 復習30分：ワイヤーフレームを調整	
11.	ワイヤーフレームを作ろう	予習30分：ワイヤーフレームを調整 復習30分：プレゼンテーション準備	
12.	ワイヤーフレームプレゼンテーション	予習30分：プレゼンテーション準備 復習30分：コンセプト調整	
13.	ワイヤーフレームから実装をしよう	予習30分：コーディング実践 復習30分：コーディング実践	
14.	ワイヤーフレームから実装をしよう	予習30分：コーディング実践 復習30分：コーディング実践	
15.	最終課題プレゼンテーション	予習30分：プレゼンテーション準備 復習30分：授業のふりかえり	
教科書	必要に応じて配布		
参考書	随時情報提供		
学習成果の 評価方法	授業内課題 50% 最終課題 50%		
特記すべき 事項	デザイン企画会社を10年以上経営している。 前期科目「表現研究Ⅰ」を受講していることが望ましい。		
質問・相談等 の受付	チャットツール(GoogleChat)随時質問を受け付け可能。		

科目	文学概論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	中島由美子	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	百人一首という研ぎ澄まされた日本語の世界を入口にして、その背景の平安古典文学と、その登場人物の生きざまを現代に生きる自分たちに重ねながら鑑賞、理解する。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果 (I) に対応する。		
到達目標	〔司書に必要な知識の習得及び共感的理解の観点〕①古文を原文で読むことができる ②和歌の知識を踏まえてた上で百人一首を理解、鑑賞し暗誦する。③平安古典文学に登場する人々の生きざまと心情を自らに重ねながら理解する。 〔表現力の観点〕④理解したことや考えたことを言葉や文章で表現し、討議できる。		
学習成果の評価基準	I 到達目標①、②の達成度を測るために、授業で取り上げた和歌や古文に関する定期試験において6割以上の解答ができる。 II 到達目標②、③の到達度を測るために、レポートや鑑賞文を課し、評価する。 III 授業での積極的な発言やグループ討議への参加態度を「受講態度」の評価とする。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	開講にあたって①授業概要と目標、評価 ②百人一首の概要 ③和歌の知識の確認	シラバスの確認 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
2.	百人一首の読解・鑑賞 (1) 歌番9. 17. 19. 21	当該歌番についてテキスト予習 (2時間) 当該歌番の和歌暗誦 (2時間)	
3.	「伊勢物語」在原業平の恋の行方 [1]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
4.	「伊勢物語」在原業平の恋の行方 [2]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
5.	百人一首の読解・鑑賞 (2) 歌番23. 35. 38. 40	テキスト予習 (2時間) 和歌暗唱 (2時間)	
6.	百人一首の読解・鑑賞 (3) 歌番41. 42. 43. 46	テキスト予習 (2時間) 和歌暗唱 (2時間)	
7.	百人一首の読解・鑑賞 (4) 50. 53. 54. 56	テキスト予習 (2時間) 和歌暗唱 (2時間)	
8.	「蜻蛉日記」右大将道綱母、妻の苦悩 [1]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
9.	「蜻蛉日記」右大将道綱母、妻の苦悩 [2]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
10.	「和泉式部日記」和泉式部の情熱 [1]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
11.	「和泉式部日記」和泉式部の情熱 [2]	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
12.	百人一首の読解・鑑賞 (5) 歌番57. 60. 62. 63	テキスト予習 (2時間) 和歌暗唱 (2時間)	
13.	「枕草子」清少納言の見た宮廷世界	教材プリント予習 (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
14.	百人一首の読解・鑑賞 (6) 歌番77. 80. 87. 89	テキスト予習 (2時間) 和歌暗唱 (2時間)	
15.	講義全般を振り返る	復習プリント (2時間) 授業の振り返り (2時間)	
教科書	「ときめき百人一首」小池昌代著 河出文庫		
参考書	古語辞典・プリント教材		
学習成果の評価方法	受講態度 (10%) 小テスト・レポート等 (20%) 定期試験 (70%)		
特記すべき事項	各授業について予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付	授業内容に関する質問は授業時間中に、それ以外の相談等は休み時間等で受け付ける。		

科目	作家作品研究Ⅰ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	桐生直代	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	この授業では、近代以降の文学作品をとらして文学研究の方法を学んでいきます。前半は、研究の手順を図書館等を活用しながら学びます。後半は、学生による作品研究の演習発表を行います。演習では、学生がそれぞれ自分の出身地ゆかりの作家・作品を選び、文学と風土というテーマで作家を捉え、作品を読み解くことを目指します。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(5)に対応します。		
到達目標	【知識・理解の観点】作家研究、作品研究について理解し、文学作品を主体的に読むことができる。 【技能の観点】授業で学んだ方法を活用して、文学作品・作家を研究対象として捉えることができる。 【態度の観点】ディスカッションや発表に意欲的に参加し、他者の意見を尊重し自分の意見を述べるができる。		
学習成果の評価基準	レポート(40%)発表(30%)受講態度(30%) 発表の評価には、発表の準備・発表後の追加調査を含みます。 受講態度には、発表者への質問や質疑応答の態度を含みます。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	【予習】シラバスを読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
2.	作家について調べる	【予習】配付資料を読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
3.	文学史の位置づけ	【予習】配付資料を読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
4.	作品本文の精査	【予習】配付資料を読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
5.	研究史の整理	【予習】配付資料を読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
6.	注釈を付ける	【予習】配付資料を読む。(30分) 【復習】本時を振り返る。(30分)	
7.	まとめ	【予習】疑問点を整理する。(30分) 【復習】重要なところを整理する。(30分)	
8.	口頭発表の準備1 レジュメの作り方	【予習】資料を準備する。(30分) 【復習】調査することを整理する。(30分)	
9.	口頭発表の準備2 発表の仕方	【予習】資料を準備する。(30分) 【復習】調査・考察することを整理する。(30分)	
10.	学生の発表1	【予習】発表の準備をする。(30分) 【復習】回答書を作成する。(30分)	
11.	学生の発表2	【予習】発表の準備をする。(30分) 【復習】回答書を作成する。(30分)	
12.	学生の発表3	【予習】発表の準備をする。(30分) 【復習】回答書を作成する。(30分)	
13.	学生の発表4	【予習】発表の準備をする。(30分) 【復習】回答書を作成する。(30分)	
14.	学生の発表5	【予習】発表の準備をする。(30分) 【復習】回答書を作成する。(30分)	
15.	まとめ レポートの準備	【予習】全員の発表を振り返る。(30分) 【復習】レポートの準備をする。(30分)	
教科書	なし プリントを配付します。		
参考書	授業中に適宜紹介します。		
学習成果の評価方法	レポート(40%)発表(30%)受講態度(30%)		
特記すべき事項	前半は、図書館で文献調査を行います。後半の演習発表では、学生の発表や議論が授業の中心になります。積極的な参加を期待します。		
質問・相談等の受付	授業前後の空き時間、もしくはGmailで受け付けます。		

科目	読書と豊かな人間性	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	豊かな人間性を育てる読書生活のために、発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る。また、「言葉」による表現で読書に親しむための実技を学ぶ。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	発達段階に応じた読書の違いに振れ多様化する読書資料の活用ができるようになる。また、絵本の選定や読み聞かせの手法を学び、コミュニケーションを取りながら人前で読み聞かせ等ができるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標にしている、発達段階に応じた読書資料の活用の達成度及び絵本の読み聞かせの実技、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	読書の意義と目的について	予習:なぜ読書をしなければならないのか(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
2.	読書能力の発達について	予習:さまざまなリテラシーについて考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
3.	読書興味の発達について	予習:発達段階によつての読書を考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
4.	読書興味の発達段階について	予習:就学時までの読書について考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
5.	読書興味の発達段階について	予習:小学低学年の読書を考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
6.	読書興味の発達段階について	予習:小学校高学年の読書を考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
7.	読書興味の発達段階について	予習:中高校生以上の読書を考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
8.	読書の導入的な指導	予習:環境整備について考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
9.	読書体験表現・交流について	予習:自分の読書体験について考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
10.	公共図書館と学校図書館の連携	予習:公共図書館と学校図書館の連携を考える(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
11.	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる(理論)(1)	予習:いろいろなジャンルの絵本を読む(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
12.	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる(理論)(2)	予習:いろいろなジャンルの絵本を読む(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
13.	絵本の読み聞かせを実演し、読み手と聞き手の関係性を学ぶ(実技)	予習:読み聞かせの練習(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
14.	絵本の読み聞かせを実演し、絵本のめくり方、間の取り方、終わり方などを学ぶ(実技)	予習:読み聞かせの練習(120分) 復習:授業を振り返る(120分)	
15.	授業総括	予習:今までの授業内容を振り返る(120分) 復習:今までの授業を振り返る(120分)	
教科書	『新版読書と豊かな人間性』朝比奈大作ほか/放送大学教育振興会		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(10%)定期試験(60%)授業内発表(30%) 到達度確認テストを実施後、フィールドバックします。		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談の受付			

科目	コミュニケーション論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	山田俊之	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	コミュニケーション能力とは「対人的なやり取りにおいて、お互いの意思疎通をスムーズにするための能力のこと」です。家庭、学校、職場、社会といったあらゆるシーンで、他人との人間関係を円滑に構築するために非常に重要な能力である。特に図書館人はレファレンスをする時などコミュニケーションで失敗の無いようにしたい。授業では、上記の「コミュニケーション能力」を理解しながら、地域のコミュニティーや学校に実際にプレゼンテーションを実施しながら、自分たちのテーマやお勧めの本などを紹介して実践的なワークショップや演技発表を行う。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	対人的なやり取りにおいて、お互いの意思疎通をスムーズにするための能力身に付け活用できる。また、自己やチームの目的達成のために周囲と協調する能力を見つけることができる。		
学習成果の評価基準	コミュニケーション能力の理解、お互いの意思疎通をスムーズにするための能力を実践的なワークショップやディスカッション、プレゼンテーションなどを通して評価を行う。学校、職場、社会といったあらゆるシーンで、他人との人間関係を円滑に構築するため、実際にプレゼンテーションを実施しながら、自分たちのお勧めの本などを紹介、実践的なワークショップや演技発表を評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「コミュニケーション能力」とは？ ・他者を巻き込む力、理解させる・説得する力、論理的に伝える力を理解する。	予習：シラバスを確認する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
2.	「言語コミュニケーション」の「バーバル表現」、「非言語コミュニケーション」の「ノンバーバル表現」の違いや特性について理解する。	予習：テーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
3.	類語「コミュニケーションスキル」の理解。「コミュニケーションスキル」は、特にビジネスの場での「話す」「聴く」。演習。発表。	予習：テーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
4.	①伝える②受け取る③非言語について。演習。発表。	予習：テーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
5.	「バーバルコミュニケーション」を体験 ①1対1のコミュニケーション 3例 ②3～4名のディスカッションversion1～4	予習：テーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
6.	③5名以上のディスカッションversion1～4 ④「1対全員」の発表の方法 *自分の思いを2分以内で伝える	予習：グループ練習を行う。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
7.	①リズム遊びワークショップ 3例 ②アンサンブル・ワークショップ 「手拍子の花束」version1～4	予習：グループ練習を行う。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
8.	③カノン形式ワークショップ 「花火」version1～4 ⑤ボイスアンサンブル実践ワークショップ	予習：グループ練習を行う。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
9.	何のためにコミュニケーションを取るのか。コミュニケーションの目的について。	予習：グループ練習を行う。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
10.	「人間関係を築く」「情報を交換・共有する」、「相手に働きかける」をテーマに地域のコミュニティでワークショップI	予習：プレゼンのテーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
11.	「人間関係を築く」「情報を交換・共有する」、「相手に働きかける」をテーマに地域のコミュニティでワークショップII	予習：グループのテーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
12.	「人間関係を築く」「情報を交換・共有する」、「相手に働きかける」をテーマに地域のコミュニティでワークショップIII	予習：グループのテーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
13.	「人間関係を築く」「情報を交換・共有する」、「相手に働きかける」をテーマに地域のコミュニティでワークショップIV	予習：グループのテーマを準備する。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
14.	経験したワークショップをグループでまとめ、グループディスカッションの後、プレゼンテーションの準備を行う。	予習：小論文を書く。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
15.	経験したワークショップをグループでまとめ、グループディスカッションの後、プレゼンテーションの準備を行う。	予習：小論文を書く。(2時間) 復習：配布資料を確認する。(2時間)	
教科書	教材文献については授業内で適宜指示する 授業に関してはレジュメプリントを配布する		
参考書	参考文献については授業内で適宜指示する 授業に関してはレジュメプリントを配布する		
学習成果の評価方法	授業参加・意欲20%、小レポート30%、ワークショップ、ディスカッション、プレゼンの意欲行動50%		
特記すべき事項	ディスカッション、プレゼンテーションを積極的に行う。 各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。		
質問・相談等の受付	メールで随時受け付ける。面談も可能。		

科目	情報学概説	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	現代情報社会は、コンピュータなしでは成り立たない。コンピュータを使いこなすにあたって必要な基本的知識を、情報の入出力・処理・蓄積という観点と、情報の表現・コミュニケーションという観点から、仕組み、利用法、今後の可能性までを総合的に学習する。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果 (6) に対応する。		
到達目標	コンピュータの基本的仕組み、処理の手順を理解した上で、電子メールやグループウェアを使ってのコミュニケーションが円滑にできるようになる。		
学習成果の評価基準	授業内で電子コミュニケーション課題を提出する。 コンピュータやインターネットに関する定期試験を行う。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	Office365の設定	予習：教科書p7～20 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
2.	電子メールの基本	予習：教科書p21～33 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
3.	電子メールのグループ利用	予習：教科書p34～45 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
4.	電子メールでファイルを扱う	予習：教科書p46～56 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
5.	インターネットの情報検索	予習：教科書p57～71 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
6.	オンラインデータベースの利用	予習：教科書p72～85 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
7.	公開情報・データの検索と活用	予習：教科書p86～94 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
8.	電子会議 1	予習：教科書p95～105 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
9.	電子会議 2	予習：教科書p106～113 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
10.	グループでのファイル共有	予習：教科書p114～122 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
11.	グループウェアの活用 1	予習：教科書p123～131 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
12.	グループウェアの活用 2	予習：教科書p132～137 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
13.	グループウェアの活用 3	予習：教科書p132～137 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
14.	グループウェアの活用 4	予習：教科書p146～150 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
15.	ネットワークコミュニケーションのこれから	予習：教科書p151～155 (60分) 復習：授業内容のふりかえり (60分)	
教科書	『ゼロからはじめる情報リテラシー』 高橋尚子 技術評論社		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度:10% 授業内課題:30% 期末試験:60%		
特記すべき事項	情報処理士必修		
貸出・授業等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kyushuotani.online		



科目	情報資源組織論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	多様かつ多量の情報資源のひとつひとつを、図書館の情報資源全体に一体化させ、利用者が探しやすい、図書館側も管理しやすいように位置づける情報資源組織法について、目録法と分類法を中心に学習する。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	分類と目録を中心にして、図書館が所蔵する情報資源の組織法について理解し、演習科目につなげる。 司書業務の一つとして情報資源の組織の意義を理解し、図書館サービスとして活かせるようになる。		
学習成果の評価基準	授業内で確認小テストを行う。 情報資源組織全般についての定期試験		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	情報資源組織化の意義と理論	予習:教科書p6~11を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
2.	書誌コントロールと標準化	予習:教科書p12~17を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
3.	書誌記述法	予習:教科書p18~23を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
4.	日本目録規則(1)	予習:教科書p24~29を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
5.	日本目録規則(2)	予習:教科書p30~37を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
6.	主題分析の意義と考え方	予習:教科書p38~43を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
7.	主題分析と索引法	予習:教科書p44~49を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
8.	基本件名標目表	予習:教科書p50~55を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
9.	主題分析と分類法	予習:教科書p56~61を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
10.	日本十進分類法	予習:教科書p62~69を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
11.	教科書p62~69	予習:教科書p70~75を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
12.	教科書p70~75	予習:教科書p70~75を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
13.	ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ	予習:教科書p82~87を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
14.	多様な情報源の組織化	予習:教科書p88~93を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
15.	展望とまとめ	予習:教科書p94~101を読む(60分) 復習:プリントと合わせて復習(60分)	
教科書	『情報資源組織論』榎本由希子ほか 学文社		
参考書	適宜プリント配布		
学習成果の評価方法	受講態度:10% 授業内小テスト:30% 定期試験:60%		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvushuotani.online		

科目	図書館情報学概論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館の成り立ちからその存在意義、支える法体系や行政機関、類縁機関や関連業界との関わり等、広く情報提供機関、生涯学習機関としての図書館について学ぶ。また、日本の図書館の現状と問題点を考察し、これからの図書館を考える。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	図書館を成り立たせている基本的な事を理解できる。 図書館の意義と必要性を理解し、説明できる。 図書館が抱える問題点に向き合うことができる。		
学習成果の評価基準	授業内課題で單元ごとの理解度チェック 定期試験で、授業を踏まえて図書館についてどう考えるかを問う		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館の現状と動向	予習：教科書p6～11を読む(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
2.	図書館の構成要素と機能および図書館サービス	予習：教科書p12～17(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
3.	図書館の業務モデル	予習：教科書p18～23(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
4.	図書館の社会的意義	予習：教科書p24～31(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
5.	文化を伝承し保存する図書館	予習：教科書p32～37(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
6.	公共図書館の成立と展開	予習：教科書p38～43(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
7.	わが国における公共図書館の成立と発展	予習：教科書p44～49(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
8.	わが国における公共図書館政策の展開	予習：教科書p50～55(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
9.	図書館の種類と利用者(1)	予習：教科書p56～61(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
10.	図書館の種類と利用者(2)	予習：教科書p62～67(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
11.	図書館の類縁機関と図書館関連団体	予習：教科書p68～73(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
12.	図書館とライブラリアンシップ	予習：教科書p74～79(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
13.	知的自由と図書館	予習：教科書p80～85(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
14.	図書館の課題	予習：教科書p86～91(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
15.	展望とまとめ	予習：教科書p92～99(60分) 復習：授業内容の復習(60分)	
教科書	『図書館の基礎と展望』二村健 学文社 『図書館情報学基礎資料』今まど子 樹村房		
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：30% 定期試験：70%		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvushuotani.online		

科目	図書館サービス概論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館サービスの意義と基本を学ぶ。これからの図書館が情報提供機関として社会的な役割を果たすためには、従来のサービスに加え新たな視点が求められている。図書館サービスに欠かせない「言葉」。言葉でのコミュニケーションの重要性を確認しこれからの図書館サービスの活性化に向けて総合的に学ぶ。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	図書館が情報提供機関として社会的な役割を果たすサービスについての知識を修得できるようになる。司書に必要な人と人との言葉を通してのコミュニケーションの重要性が理解できるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標に明示している、図書館における情報提供機関としてサービス、人とのコミュニケーションの重要性の理解を測るために、到達度確認テスト(期末レポート)を実施し評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館サービスの意義と目的	予習：図書館サービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
2.	図書館サービスの機能	予習：図書館サービスの機能について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
3.	パブリックサービスの実際(1)	予習：貸出返却サービス等について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
4.	パブリックサービスの実際(2)	予習：レファレンスサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
5.	テクニカルサービスの実際(1)	予習：本の収集・装備・保存について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
6.	テクニカルサービスの実際(2)	予習：本の収集・装備・保存について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
7.	公共図書館サービスの変遷	予習：多様化するサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
8.	図書館サービスの種類と方法	予習：パブリックサービスについて考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
9.	資料・情報提供サービス	予習：インターネットの活用について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
10.	利用対象別サービス	予習：利用目的の支援について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
11.	図書館サービスとコミュニケーション	予習：利用者とのコミュニケーションについて(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
12.	図書館サービスと著作権	予習：著作権について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
13.	図書館サービスの協力と連携	予習：他機関との連携について考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
14.	図書館サービスの課題と展望	予習：多様化する図書館サービスを考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
15.	図書館サービスのサインシステム	予習：サインシステムを考える(120分) 復習：授業を振り返る(120分)	
教科書	『図書館サービス概論』現代図書館情報学シリーズ4 高山正也編著 樹村房		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度(10%) 小テスト(10%) 授業内課題(20%) 定期試験(60%)		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付			

科目	情報サービス論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	下川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	図書館における情報サービスの意義と役割について学ぶ 本授業は、情報司書フィールドの学習成果 (1) に対応する。		
到達目標	情報サービスの中核となるレファレンスサービスについて、レファレンスツールとしての参考図書やインターネット情報資源を知り、情報サービスの概要について理解する。		
学習成果の 評価基準	①2回目以降、前回授業内容確認のための「おさらいシート」で復習を行う。 ②随時課す課題を提出する。 ③定期試験において6割以上の解答ができる。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
2.	図書館における情報サービス	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
3.	情報サービスの種類と展開	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
4.	レファレンスサービスの理論と実際 (1) レファレンスの鉄則	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
5.	レファレンスサービスの理論と実際 (2) レファレンスインタビュー	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
6.	情報検索サービスの技法 (1) データベース、論理演算子	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
7.	情報検索サービスの技法 (2) トランケーション、制度と再現率	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
8.	レファレンスツールとその特性 (1) レファレンスツールの種類	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
9.	レファレンスツールとその特性 (2) 参考図書	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
10.	レファレンスツールとその特性 (3) ネットワーク情報資源	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
11.	レファレンスツールとその特性 (4) ネットワーク情報資源	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
12.	発信型情報サービス	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
13.	情報サービスに関わる知的財産権	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
14.	情報リテラシー	予習：教科書読み込み (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
15.	これからの情報サービス	予習：全体復習 (120分) 復習：おさらいシート (120分)	
教科書	竹之内禎 (編著) 『情報サービス論』学文社 2016年		
参考書	荏納タオ (著) 『夜明けの図書館』 (全7巻) 双葉社 2011年から2021年		
学習成果の 評価方法	受講態度 (10%) 課題提出 (10%) 定期試験 (80%)		
特記すべき 事項	各授業において予習2時間、復習2時間を必要とする。おさらいシートで毎回フィードバック。定期試験は筆記試験。 担当者は、司書として市立図書館で実務経験を有する。		
質問・相談等 の受付	授業終了後教室で行う。		

科目	情報資源組織演習 I	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	日本目録規則を学び、日本目録規則に則った情報資源の書誌データ作成方法、アクセスポイントの付与方法を、演習形式で実際に目録を作成しながら修得する。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	日本目録規則に従って、図書館が所蔵する情報資源の目録を作成できるようになる。 司書としての情報資源組織業務を理解する。		
学習成果の評価基準	単元ごとに小テストで理解度を確認。 定期試験では目録を完成させる。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	目録の構成と日本目録規則	予習：情報資源組織論の復習(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
2.	情報資源組織論の目録の部分を復習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
3.	記述構成2(版、出版)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
4.	記述構成3(形態、シリーズ)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
5.	記述構成4(注記、標準番号)	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
6.	書誌データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
7.	標目(アクセスポイント)と典拠	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
8.	タイトル標目と標目指示	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
9.	タイトル標目と標目指示	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
10.	目録データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
11.	目録データ作成演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
12.	パソコンを用いた目録データ作成演習2	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
13.	国立国会図書館データの利用	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
14.	国立国会図書館データの利用	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
15.	ネットワーク情報資源の組織演習	予習：事前配布プリントを読む(30分) 復習：授業内容の復習(30分)	
教科書	なし プリントを配布します		
参考書	『情報資源組織論』 覆本由希子ほか 学文社		
学習成果の評価方法	受講態度：10% 授業内小テスト：20% 期末試験：70% 九州大谷Online等でフィードバック		
特記すべき事項	司書資格必修		
質問・相談等の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvushuotani.online		

科目	学校図書館概論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	小中高等学校に設置されている学校図書館について、その理念と教育的意義、学校教育の中での役割、施設設備、働く人々とその職務、公立図書館をはじめとする他機関とのネットワーク、地域との関わり等、全般について学習し理解を深める。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	学校図書館の教育的意義や学校司書の職務などの基本的事項について理解する。		
学習成果の評価基準	授業内課題で単元ごとの理解度を確認。 定期試験で学校図書館に関する総合的な理解を問う。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	図書館とは	教科書p1~9(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
2.	学校図書館の理念	教科書p10~16(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
3.	学校図書館の教育的意義	教科書p17~20(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
4.	学校図書館法	教科書p21~28(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
5.	学校図書館関連の法律と教育行政	教科書p29~42(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
6.	学校経営と学校図書館	教科書p43~63(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
7.	司書教諭と学校司書(1)	教科書p64~68(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
8.	司書教諭と学校司書(2)	教科書p69~78(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
9.	学校司書と教育	教科書p79~89(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
10.	学校図書館メディア	教科書p90~102(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
11.	学校図書館メディアの選択と管理	教科書p103~108(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
12.	学校図書館の施設・設備	教科書p109~116(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
13.	学校図書館サービス(1)	教科書p117~122(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
14.	学校図書館サービス(2)	教科書p123~128(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
15.	図書館協力、学校図書館への支援	教科書p129~133(60分) 復習:再読と授業内容の確認(60分)	
教科書	『学校図書館の基礎と実際』 後藤敏行 樹村房		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度:10% 授業内課題:30% 定期試験60%		
特記すべき事項			
質問・相談の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvshuotani.online		

科目	学校教育論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	原章	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	①学校図書館の法的位置づけや学校司書としての心構えを法や学習指導要領との関連を理解させる。 ②ショートスピーチやグループ内交流などを通してコミュニケーション能力を高めさせる。		
到達目標	①学校図書館の法的位置づけを自らの考えをグループ内、クラス全体で交流することより確かなものにする。 ②学校司書も学校の職員であることを交流することで確かなものとする。 ③学校図書館と学習指導要領の関係性を理解する。 ④ショートスピーチとNEWSの発表およびグループ内での話し合いを通じてコミュニケーション能力の高まりを確かなものにする。		
学習成果の 評価基準	①学校図書館の法的位置づけについて、意見交換をふまえて自らの考えを持てているか。 ②学校職員としての学校司書の役割を理解できているか。 ③学校図書館と学習指導要領の関係性を理解できているか。 ④毎回の発表や話し合いを通じてコミュニケーション能力が高まっているか。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	本講座のガイダンス 教育を受ける権利と受けさせる義務	予：学校教育について（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
2.	教育の目的 教育の目標①	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
3.	教育の目標② 教育の機会均等	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
4.	学校図書館目的・設置義務 学校図書館の設備及び環境	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
5.	学校図書館の定義 学校図書館の運営	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
6.	地公法（サービスの近本基準） 地公法（法令及び上司の職務上の命令に従う義務）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
7.	地公法（信用失墜行為の禁止） 地公法（秘密を守る義務）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
8.	地公法（職務に専念する義務） 地公法（政治的行為の制限）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
9.	地公法（争議行為の禁止） 地公法（営利企業等の従事制限）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
10.	プレテスト これまでの学習のまとめ	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
11.	中学校学習指導要領（学校図書館、地域の公共施設の活用）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
12.	中学校学習指導要領（生徒指導の充実）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
13.	中学校学習指導要領（キャリア教育の充実）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
14.	中学校学習指導要領（障害のある生徒などへの指導）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
15.	中学校学習指導要領（不登校生徒への配慮）	予：ショートスピーチの準備（120分） 復：授業を振り返る（120分）	
教科書	自作学習プリント		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（25%） 小テスト（15%） 授業内課題（10%） 定期試験（40%） 授業内発表（10%）		
特記すべき 事項	中学校の国語科教師としてのキャリアと公共図書館長としての実務経験を講義のなかで示していく。		
質問・相談 の受付			

科目	プレゼンテーション	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	プレゼンテーションという言葉についての既存の感覚を打破し、自己理解や自己表現について学ぶ。生活の中で相互の立場を思いやり、自分の想いを伝える術を様々な視点から学ぶ。本授業は、情報司書フィールドの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	他者からの視点も参考にしながら自己分析を進めることで自己理解を深め、グループ活動においても自分なりの自己表現ができる。シンプルでビジュアルでストーリーがあるプレゼンテーションを改善しながら編集することができる。時と場合、対象者と環境に合わせたプレゼンテーションの情報収集と情報分析、およびデータ作成と情報伝達ができる。		
学習成果の評価基準	今までには無かった自己理解と自己表現を具現化し、「準備」と「反復」による自分の変化を実感する事。受講中の個々のレポートとグループ活動内容を高く評価する。毎回何かしら「お互いに言葉で伝えあうプレゼント」を交換し慣れていく過程を自分自身が感じているか自己評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション ・ストーリープレゼンテーションとビジュアルプレゼンテーション視聴 ・学生向け自己紹介準備シートの作成	予習2時間: プレゼン動画を検索して視聴 復習2時間: 自己紹介動画を検索	
2.	エレベーターピッチ(1分間)の自己紹介 ・自己紹介準備シートをもとに、1分間の自己紹介 ・隣同士で自己紹介・4人グループで他己紹介	予習2時間: 自己紹介準備シートの作成 復習2時間: 自己分析シートの作成	
3.	グループワーク「過去・現在・未来を語り合う」 ・自己分析シートを作成しグループワーク ・自己紹介スライド(2分間)の作成について	予習2時間: 自己分析シートの作成 復習2時間: 自己紹介用画像・動画	
4.	自己紹介スライドの作成(1) ・スライドのサイズと4枚程度の自己紹介構成 ・自分を伝える背景画像と言葉	予習2時間: 自己紹介に使用する素材を必ず準備 復習2時間: 自己紹介スライドを	
5.	自己紹介スライドの作成(2) ・画面切り替えとアニメーション、オーディオ ・発表に向けてのリハーサルポイント	予習2時間: 自己紹介スライドの編集 復習2時間: 発表のリハーサルを	
6.	自己紹介スライドの発表(1) ・自己評価と相互評価レポートの作成と提出 ・講師がビデオに収録	予習2時間: 発表のリハーサルを 復習2時間: 自己紹介スライドや	
7.	自己紹介スライドの発表(2) ・自己評価と相互評価レポートの作成と提出 ・講師がビデオに収録	予習2時間: 発表のリハーサルを 復習2時間: 自己紹介スライドや	
8.	PR動画の作成(1) ・若者向け「選挙」をテーマにPR動画を作る ・「選挙の大切さ」をレポートする(事例・気づき・今後の行動)	予習2時間: 若者向けの選挙動画を 復習2時間: 若者向けの選挙につ	
9.	PR動画の作成(2) ・グループワーク「動画で伝えたい事は何か」をディスカッション、レポート ・ショート動画(15秒)の企画と構成	予習2時間: 選挙に関する動画全般を 復習2時間: 若者の選挙について	
10.	PR動画の作成(3) ・視点を変えてショート動画(15秒)を作る ・相互に視聴し改善点をレポートする	予習2時間: スマホ自撮りで選挙 復習2時間: 動画を改善	
11.	PR動画の作成(4) ・ショート動画(15秒)の完成と提出 ・ロングバージョン動画(1分以内)の企画と構成	予習2時間: 長めの動画用素材を 復習2時間: 長めの動画の作成	
12.	PR動画の作成(5) ・ロングバージョン動画(1分以内)の作成と編集 ・相互に視聴し改善点をレポートする	予習2時間: 長めの動画を作成し 復習2時間: 相互視聴後の改善点	
13.	PR動画の作成(5) ・ロングバージョン動画(1分以内)の完成と提出 ・自分の推しの動画を作成	予習2時間: 長めの動画を完成さ 復習2時間: 推しの動画をつくり	
14.	YouTubeアカウント作成と限定公開アップロード ・アカウント作成時とアップロード後の注意点 ・若者向け選挙PR動画をアップロード	予習2時間: YouTubeアカウントの 復習2時間: 限定公開と削除の練	
15.	プレゼンテーションのまとめ ・推しの動画の非公開アップロードと共有 ・自己紹介、PR動画、推しの動画についてグループワーク、レポート	予習2時間: 推しの動画を完成さ 復習2時間: 授業全体を振り返り	
教科書	講師のオリジナルPDF資料		
参考書	講師が参考とする書籍 プレゼンテーションZen 第3版 単行本 - 2021/6/1		
学習成果の評価方法	授業態度(10%) レポート提出(70%) 授業内発表(20%) レポートを数単元ごとで回収し、次の授業でフィードバックを行う		
特記すべき事項	日常のひとつの挨拶こそ小さな大切な「プレゼンテーション」である。プレゼンテーションの素材収集時や作成・編集時は、著作権や肖像権についての確認を必ず行うこと。		
質問・相談等の受付	授業期間中、授業時間にいつでも受け付けます。		



科目	基礎演習 I	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	大学の授業（講義・演習）を受講し、単位を取得するために必要なスキルを学習する。聴く、読む、書く、調べる、整理する、まとめる、表現する、伝える、考える力を身につけ、レポートを作成できるようになることを目標とする。また、保育園で読み聞かせの実践を行う。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果（6）に対応する。		
到達目標	情報を収集し、整理し、読み、分析し、パソコンを使ってレポートを書けるようになる。 保育園児の前で読み聞かせができるようになる。		
学習成果の評価基準	授業の中で、単元に応じた課題や、読み聞かせの練習を課す。 まとめのレポートを提出する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	スタディスキルとは	予習：大学の授業について（30分） 復習：授業振り返り（30分）	
2.	ノートの取り方	予習：ノートの取り方について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	テキストの読み方	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	書くための読み方	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	読み聞かせ図書を選定と練習	予習：絵本の選定（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	読み聞かせ会の予行演習	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	保育所での読み聞かせ会	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	情報収集	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	文章ワーク「今日のひと言」「モーニングページ」 文は人なり解説	復習：シラバスを見ておく（30分） 復習：授業の振り返り	
10.	名文を真似る効果について 推敲における修正の考察	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	日本語の思わぬ良について	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	的を立て、思考の/aptputt力を磨く ～思い、共感、希望、警鐘～	予習：文章を書いておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.	レポートの書き方を学ぶ 原稿枚数によって組み立てを変える	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
14.	添削により文章をブラッシュアップする	予習：文章を書いておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	文章づくりに関するまとめ	予習：配布資料を読んでおく（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	授業内課題：60% レポート：40%		
特記すべき事項	教員2人で担当する。教員の1人は劇作家・ライターとして20年以上の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付			

科目	基礎演習Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	基礎演習Ⅰを受け、2年次の卒業研究につなげるべく、資料を講読し、まとめ、発表し、質問・議論等を行う。進路の分析、指導も併せて行う。また、ビブリオバトル発表に向けて、指導、練習を行う。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	レジュメをまとめ発表ができるようになる、また発表者に質問ができるようになる。 ビブリオバトルで発表ができるようになる。 就職活動に備えて準備をする。		
学習成果の評価基準	授業内で分担に従いレジュメを作成し発表する 春期休暇に向けて計画レポートを作成する ビブリオバトルの準備と発表を行う		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	就活ナビサイトの活用	予習：就活ナビサイトを知る(30分) 復習：登録確認(30分)	
2.	自己分析の方法・履歴書の書き方	予習：自らを振り返る(30分) 復習：仮履歴書の再確認(30分)	
3.	ビブリオバトル用図書を選定と練習	予習：図書館での本探し(30分) 復習：ビブリオバトルの練習(30分)	
4.	ビブリオバトルの予行演習	予習：ビブリオバトルの練習(30分) 復習：ビブリオバトルのチェック	
5.	ビブリオバトルの実施	予習：ビブリオバトルの練習(30分) 復習：ビブリオバトルのチェック	
6.	講読テキストの選定とレジュメのまとめ方	予習：テキストの概要把握 復習：発表準備	
7.	ゼミ内発表 発表1	予習：テキストの精読 復習：発表準備	
8.	ゼミ内発表 発表2	予習：テキストの精読 復習：発表準備	
9.	ゼミ内発表 発表3	予習：テキストの精読 復習：発表準備	
10.	ゼミ内発表 発表4	予習：テキストの精読 復習：発表準備	
11.	ゼミ内発表 発表5	予習：テキストの精読 復習：発表準備	
12.	卒業研究発表会への参加	予習：レジュメの熟読 復習：感想をまとめる	
13.	卒業研究発表会を振り返る	予習：発表会レジュメの復習 復習：レポート作成	
14.	自己分析・履歴書の確認	予習：自己を振り返る 復習：自己分析・履歴書を仕上げる	
15.	就職セミナー参加に向けて	予習：春期休暇計画立案 復習：春期休暇計画確認	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：25% 授業内発表：50% レポート：25%		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			

科目	基礎演習Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	基礎演習Ⅰを受け、2年次の卒業研究につなげるべく、資料を講読し、まとめ、発表し、質問・議論等を行う。進路の分析、指導も併せて行う。また、ビブリオバトル発表に向けて、指導、練習を行う。 本授業は、情報司書フィールドの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	レジュメをまとめ発表ができるようになる、また発表者に質問ができるようになる。 ビブリオバトルで発表ができるようになる。 就職活動に備えて準備をする。		
学習成果の評価基準	授業内で分担に従いレジュメを作成し発表する。 春期休暇に向けて計画レポートを作成する。 ビブリオバトルの準備と発表を行う。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	就活ナビサイトの活用	予習：就活ナビについて(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
2.	自己分析の方法・履歴書についての指導	予習：自らを振り返り、仮履歴書を作成(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
3.	ビブリオバトル用図書を選定と練習	予習：ビブリオバトル用の図書選定と練習(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
4.	ビブリオバトルの予行演習	予習：ビブリオバトルの練習(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
5.	ビブリオバトルの実施	予習：ビブリオバトルの練習(30分) 復習：ビブリオバトルに参加して	
6.	卒業論文についてテキストの選定とレジュメのまとめ方	予習：テキストの概要把握(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
7.	ゼミ内発表 発表1	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
8.	ゼミ内発表 発表2	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
9.	ゼミ内発表 発表3	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
10.	ゼミ内発表 発表4	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
11.	ゼミ内発表 発表5	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
12.	ゼミ内発表 発表6	予習：テキストの精読発表準備(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
13.	卒業研究発表会への参加	予習：レジュメの熟読(30分) 復習：卒業研究発表会の振り返り(30分)	
14.	自己分析・履歴書の確認	予習：自己分析・履歴書を仕上げる(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
15.	就職セミナー参加に向けて	予習：春期休暇計画(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：25% 授業内発表：50% レポート：25%		
特記すべき事項			
質問・相談等の受付			